

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第257号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年10月16日 04時50分ごろ	
発生場所	千葉県銚子港 銚子港一ノ島灯台から真方位036°680m付近 (概位 北緯35°45.2′ 東経140°51.7′)	
事故等調査の経過	平成21年10月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第三^{はやし}林丸、17.3トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 CB2-06320（漁船登録番号）、有限会社林丸</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船底にき裂を生じて機関室に浸水	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、船首約0.8m、船尾約1.7mの喫水で、僚船とともに銚子漁港を出港し、犬吠埼東方約2海里沖の漁場に向かった。</p> <p>船長は、銚子漁港出入口の銚子港東防波堤川口灯台を右に見て約11.5ノットの速力で右回頭中、平成21年10月16日04時50分ごろ、同防波堤先端付近の消波ブロックに乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：平穏、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、銚子港東防波堤先端沖を通過しようとする際、右回頭を開始する時機が早かった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が銚子港東防波堤先端沖を通過しようとする際、右回頭を開始する時機が早かったため、同防波堤先端付近の消波ブロックに乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	